

法人委員の方は、人数に制限なく出席できます。

個人委員・特別委員の方は、本人または代理の方（1名）が出席できます。

フェロー委員の方は本人のみが出席できます。

【会告】「2008年6月(6月6日(金)開催) 研究例会 内容」

生産自動化専門委員会委員長 大隅 久

2008年6月(6月6日(金)開催)の研究例会では「ニューアクチュエータ」を主題として3件の講演を企画しました。

生産技術のあらゆる装置に用いられるアクチュエータの最先端技術の動向と今後の利用が期待されるアクチュエータに関し、アクチュエータ界の第一人者でいらっしゃいます東京大学の樋口俊郎教授に、その動向と今後の展望、さらにその中でも特に実用化の期待が高い静電アクチュエータについての解説をいただきます。豊田工業大学の古谷克司教授には、装置の小型化への寄与が大きい機能材料アクチュエータの中から圧電アクチュエータを取り上げ、位置決めシステムのための利用技術を解説いただきます。株式会社 TAIYO の澤田様には、既に実用化された新しいアクチュエータ技術として、機械的な工夫により実現された小型電動グリッパと、バックラッシュの軽減された電動アクチュエータのご紹介をいただきます。

ニューアクチュエータの全体像、更にもっと中でも実用化、あるいは実用化に近いアクチュエータの講演ということで、新たな装置の開発を行う際には大変参考になる内容かと思えます。多くの皆様のご出席を期待しています。

なお、6月研究例会の企画は、中央大学大隅が担当いたしました。

1. 日時：2008年6月6日(金) 13:00～16:00

2. 主題：「ニューアクチュエータ」

3. 講演題目：

(1)13:00～14:00 「次世代アクチュエータ研究開発の概要と静電アクチュエータ」

東京大学 工学系研究科 精密機械工学専攻 教授 樋口 俊郎 先生

【講演概要】

平成16年度より進めている文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「ブレイクスルーを生み出す次世代アクチュエータ研究」の研究活動を中心に、新しいアクチュエータの研究開発動向を紹介する。そして、実用化が期待されている静電アクチュエータの諸特性、応用分野、開発課題などについて述べる。

(2)14:20～15:10 「小型位置決め装置のためのアクチュエータ技術」

豊田工業大学 工学部 先端工学基礎学科 教授 古谷 克司 先生

【講演概要】

高機能化、小型軽量化をさらに進めるために、さまざまな機能材料アクチュエータが提案されている。本講演では圧電アクチュエータを中心に、使う立場から基本的な技術を説明する。

(3)15:10～16:00 「電動グリッパと電動ロータリの概要」

株式会社TAIYO 空気圧事業部 ES開発部 澤田 謙 氏

【講演概要】

従来の電動グリッパはその構造から小型・軽量化するのが難しかったが、円盤カムを用いることにより小型化を実現したグリッパの概要を紹介する。また回転型の減速機はバックラッシュが課題であった、磁氣的にバックラッシュの軽減を実現したロータリアクチュエータを紹介する。

4. 場所：東京大学 本郷キャンパス 工学部14号館1階142号室

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1

(当日の緊急連絡先：新井研究室) Tel: 03-5841-6457, Fax: 03-5841-8548

【14号館の位置】

本郷通りから正門を入り，左へ曲がる．北方向（農学部方向）へ本郷通りに沿ってキャンパス内を歩く．左側二つ目のビルが14号館．

◆◆ [下図参照] ◆◆

【交通】

地下鉄・丸の内線 本郷3丁目：本郷通り北方向（駒込方向）徒歩15分

南北線 東大前：本郷通り南方向（本郷3丁目方向）徒歩10分

5. 出席連絡先：

2008年5月30日(金)までに，メールに添付の出席連絡票に所定事項をご記入の上FAXしていただくか，E-mailにてご連絡をお願い致します．

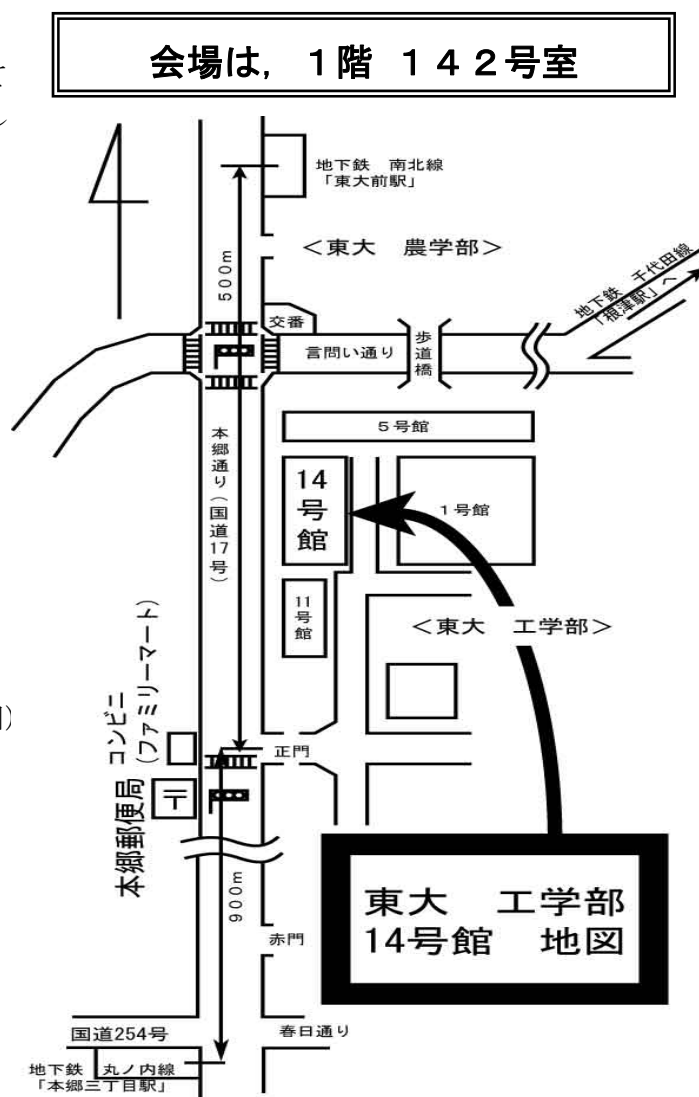
E-mail：事務局補佐 岩佐礼子
(E-mail：seisanji@dk2.so-net.ne.jp)
FAX：0537-22-1892

6. 6月例会問合せ先：

精密工学会 生産自動化専門委員会
6月例会担当
大隅 久 (中央大学)

TEL 03-3817-1824
FAX 03-3817-1820
E-mail：osumi@mech.chuo-u.ac.jp

(右図：東大本郷キャンパス 工学部14号館案内図)



<東大 本郷キャンパス 工学部 14号館：地図↑>

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_15_j.htm